11 交流

関連予算の執行額

(単位：千円)

会計 区分	予算科目			予算執行額
	款	項	目	
一般	02総務費	01総務管理費	12国際交流費	98,859
一般	02総務費	02企画費	01企画総務費	※ 415,436
一般	02総務費	02企画費	02計画調査費	2,167,979
一般	04衛生費	02環境衛生費	03環境衛生指導費	1,211,913
一般	07商工費	01商業費	01商業総務費	※ 46,844,763
一般	07商工費	03観光費	01観光費	※ 1,132,205

1 新しい徳島づくりの推進

1 地域づくり活動の促進（市町村課，地方創生推進課，県民環境政策課，長寿いきがい課，南部総合県民局，西部総合県民局）

1(1) とくしま県民活動プラザの運営

地域づくり，NPO，ボランティアなど県民の自主的・自立的な社会貢献活動の総合的な支援拠点として，とくしま県民活動プラザを運営し，活動・交流の場の提供，情報収集・提供，広報・啓発，相談・支援，人材育成等の各種支援事業を実施した。

1(2) がんばるNPO応援推進事業の実施

地域の課題解決の担い手であるNPOの自主的・自立的活動を促進し，寄附意識の醸成を図るため，寄附をはじめとした資金調達の研修や研修イベントの開催のほか，徳島県版指定NPO法人制度による認定NPO法人化を支援する施策を行った。

1(3) 市町村等が行う地域づくり事業の支援

県及び市町村が策定する「地方版総合戦略」の効果的展開を図るため，県内市町村，民間又は両者の連携・協働による「『とくしま回帰』を推進する地方創生の取組」を発掘し，事業化に向けたスタートアップを支援するため，交付金を交付した。

事業の名称	事業内容	交付件数	交付金合計
「とくしま回帰」推進支援交付金（総合戦略推進部門）	市町村間の連携または市町村と民間の連携・協働により行う「地方版総合戦略を推進する」取組に対し交付金を交付した。	2件	6,604千円
「とくしま回帰」推進支援交付金（集落再生部門（とくしま集落再生プロジェクトモデル交付金））	過疎地域等において深刻化する課題に対応するため，民間事業者ならではの新たな発想やノウハウを最大限に活用した取組に対し交付金を交付した。	8件	13,850千円

(次のページへ続く)

事業の名称	事業内容	交付件数	交付金合計
「とくしま回帰」推進支援交付金（集落再生部門（サテライトオフィスモデル交付金））	サテライトオフィス進出企業が、自社の技術や経験を活かして取り組む創意に満ちた地域貢献活動に対し交付金を交付した。	2件	1,000千円
「とくしま回帰」推進支援交付金（徳島版地方創生特区部門）	「徳島版地方創生特区」を指定し、地域課題の解決や持続可能なまちづくりを実現するモデルとなる市町村の先導的な取組に対し交付金を交付した。	4件	14,870千円
リーサス活用モデル市町村支援交付金	市町村が「地域経済分析システム：リーサス」を活用して実施する先導的な取組であり、地域力の発揮やリーサスの普及促進に資する事業に対し交付金を交付した。	1件	10,000千円

1(4) 住んでみんで徳島で！とくしま回帰促進事業

東京圏をはじめとした大都市圏の住民に、本県に関心を持っていただき、移住交流人口を拡大することにより、「とくしま回帰」を加速するため、情報発信や移住相談、サポート体制の強化を図った。

- ・都市部で行われる移住交流イベントへの出展や「ふるさと暮らし情報センター」（東京）等での情報発信を積極的に行い、大都市圏の住民に対し、移住先としての本県の魅力を発信
- ・徳島駅前と東京に「移住コンシェルジュ」を配置し、移住希望者の相談にきめ細やかに対応するとともに、テレビ会議システムを利用した遠隔相談を新たに実施
- ・移住者と地域のつなぎ役となる「移住コーディネーター育成研修会」を開催
- ・移住後のフォローアップを行う「移住者交流会」を県内3圏域で開催
- ・「日本創生のための将来世代応援知事同盟」構成13県が共同で、地方の暮らしの魅力や地方にある様々な価値を発信する先駆的なフェアを東京で開催

1(5) 「とくしま回帰人材」活用事業

移住実現に向けては、「仕事の確保」が大きな決め手となることから、本県への移住を希望する方が、そのスキルや知識を活かして活躍できる「新たな雇用制度」として、県非常勤特別職「地方創生推進員」を創設し、20人の新規採用枠を創出した。

1(6) 新とくしま集落再生プロジェクト推進事業

平成27年度末をもって終了した「集落再生プロジェクト」の発展的創造を図る「新とくしま集落再生プロジェクト」を推進するため、地域資源を活用した新たな事業の創出や、集落再生に取り組む意欲ある者に対して多角的な支援を行った。

- ・官民連携により、「徳島ならではの」地域再生の取組や地域密着型ビジネスなどのアイデアの種を見出し、本県にゆかりの人や組織がその実現化を支援し、地域活性化の「徳島モデル」として全国に発信する「とくしま創生アワード」を開催
- ・過疎地域をはじめとした集落の再生や地域活性化に向けた取組を検証するため、地域づくりの有識者や実践者による「とくしま集落再生アドバイザー会議」を開催
- ・徳島から集落再生モデルを先導し、県内の地域活性化の意識を醸成するため、「とくしま集落再生フォーラム」を開催

1(7) 徳島型CCRC構築推進事業

徳島ゆかりの高齢者の移住を促進し、本県への「新しい人の流れ」を創出するため、「とくしま帰郷」に向けた移住機運の醸成を図るとともに、地域の特性や強みを活かした「徳島型CCRC・生涯活躍のまち」の構築を推進した。

- ・推進の意向のある市町村、事業者、関係団体等で組織する「『ゆかりの徳島』里帰り戦略会議」において、ワーキング・グループを新たに設置し、アクティブ・シニアが介護分野で活躍するための方策を検討
- ・「生涯活躍のまち」支援プロジェクト・チームを新たに設置し、海陽町をモデルに地域住民が主体となって今後のまちづくりを考えるワークショップの開催等を支援
- ・「移住フェア」等において本県における「生涯活躍のまち」の魅力をPR
- ・CCRC構想の事業化に向けて具体的な取組を行う事業主体等の支援

1(8) 「四国の右下」若者創生事業

南部圏域の過疎化が進む地域において、人材環流と地域活性化を図るため、県及び市町連携による「『四国の右下』若者創生協議会」を設置し、若者にターゲットを絞った戦略的な移住・定住促進事業とサテライトオフィスの誘致拡大に向けた事業を実施した。

- ・主に都市部の社会人や学生を対象とした「実践的インターンシップ」の実施
- ・Webサイト「『四国の右下』移住ナビ」等による戦略的な情報発信
- ・サテライトオフィスの総合相談窓口へのコンシェルジュの配置、誘致イベントの開催、視察対応
- ・「『四国の右下』サテライトオフィス認定制度」による財政面や情報面での支援

1(9) にし阿波・サテライトオフィス誘致促進事業

総務省からの委託事業として、「にし阿波」地域へのサテライトオフィスの誘致を進めるため、都市部企業の視察ツアーや企業がにし阿波で実際の勤務を行うために必要な業務スペースとして「お試しオフィス」の開設、都市部企業への情報発信などを2市2町と連携して行った。

2 広域交流の推進

1 新たな交流資源の創造（総合政策課，地方創生推進課，観光政策課，にぎわいづくり課，南部総合県民局）

1(1) 「マチ★アソビ」支援事業

話題のアニメ作品の制作者、声優、エンターテインメントメーカー等多数のゲストを核としたアニメイベントを行い、徳島でしかできないイベントとして全国に発信し、「アニメと言えば徳島」というイメージを定着させるとともに、交流人口の増大を図った。

1(2) とくしまマラソン支援事業

第9回目及び第10回目となる大会を開催し、県民のスポーツ振興を図るとともに、多数の県外ランナーの参加のもと、本県の魅力や県民挙げての「おもてなしの心」を全国に情報発信した。

1(3) 体験型観光の推進

本県が誇る豊かな自然や伝統文化などを活用した体験型観光を推進するため、県内各地の取組を育成・支援するとともに、体験プログラムを利用した教育旅行の誘致に取り組むことで、交流人口の増大と地域の活性化を図った。

1(4) 阿波の国ネットワーク推進事業

全国各地に広がる県人会の人的ネットワークを利用し、物産の販路拡大や観光誘客の推進を図るとともに、全国徳島県人会連合会が委嘱した「徳島交流大使」を通じて、全国各地との交流の拡大に努めた。

1(5) vs東京実践事業 SECOND STAGE

本県の認知度向上、ブランドイメージの定着を図るため策定した共通コンセプト「vs東京」に基づき、「徳島国際短編映画祭」の開催、移住PR映像・「阿波藍」PR動画の制作・発信等による戦略的かつ効果的な情報発信を展開し、共通コンセプトの一層の浸透を図った。

1(6) 地方創生サポーター「すだちくん」活用事業

すだちくんを活用した効果的パフォーマンスの展開、広く県民や企業への着ぐるみの貸出、SNSを使った県内外に向けた情報発信の強化により、本県のブランドイメージの向上を図った。

1(7) 「四国の右下」観光誘客チャレンジ事業

「四国の右下」への誘客を促進し交流人口の拡大を図るため、アウトドアスポーツや食を活用したツーリズムの展開、「四国の右下」ならではの魅力発信等により、観光入り込み客数増加をはじめ交流人口拡大による地域活性化に取り組んだ。

また、「全国井サミットinあなん」や「四国の右下・まけまけマルシェ」を開催したほか、SNS等を活用した南部圏域の魅力発信や旅行エージェントへのプロモーションなどを実施した。

さらに、南部圏域の豊かな自然を活用した自転車イベント「四国の右下」ロードライド2016などを開催し、交流人口の拡大や地域の魅力発信に努めた。

1(8) 県南地域づくりキャンパス事業

南部圏域をフィールドとした県内外の大学生による地域資源の発掘や調査研究、また農山漁業体験を通じたフィールドワーク等を実施した事により、地元住民との交流が図られ、若者の発想や視点を活かした新たな地域活性化に向けた取組が進められた。

1(9) 「海とともに生きる」環境で繋げる未来事業

室戸阿南海岸国定公園の美しく豊かな環境を次世代に継承するため、「ビーチコーミング」を実施するとともに、千年サンゴの保全活動を支援し、南部圏域の自然について魅力発信するなど、まちづくりの推進を図った。

2 交流の場づくり（県民環境政策課、にぎわいづくり課）

2(1) あすたむらんど(ふれあい公園)の管理運営

自然とふれあいながら夢や探求心を育む場、人と人との交流の場を提供することを目的として、

あすたむらんど（ふれあい公園）の適正な管理運営を行った。

2(2) 渦の道の管理運営

渦潮をはじめとする鳴門公園地区の優れた自然及び大鳴門橋を間近に見学することができる渦の道の適正な管理運営を行い、本県の観光振興に貢献した。

2(3) 出島地区開発事業の推進

阿南市出島地区開発事業について、第三セクター方式によるゴルフ場運営を行い、スポーツ・レクリエーションの振興を図った。

2(4) 吉野川交流推進会議への参加

吉野川の魅力を高め、川を通じた交流を深めることを目的としている吉野川交流推進会議に参加し、アドプト・プログラム吉野川や子どもを対象とした体験事業、三大河川の兄弟縁組みや地域イベントとの交流事業などを実施した。

3 国際交流の推進

1 地域の国際化の推進（国際課）

1(1) 外国青年招致事業の推進、語学教育の充実

国際交流員及び英語指導助手として外国青年を招致し、地域レベルでの国際交流を推進するとともに、英語教育の充実を図った。

事業名	事業内容	備考
外国青年招致事業	雇用期間 原則1年間 招致人員 85名 勤務先 徳島県国際企画課 3名 徳島県教育委員会 21名 鳴門市 2名 美馬市 2名 市町村教育委員会 57名	平成28年度 85名

1(2) 国際性豊かな県民の育成

県民の国際理解を促進するため、国際理解支援講師を派遣するとともに、国際理解の分野で活躍している方の講演を開催した。

また、日本語指導ボランティア養成を目的とした初心者講座及びスキルアップ講座を開催するとともに、語学ボランティアに関する研修会を開催した。

2 多様で広範な国際交流の推進（国際課）

2(1) 中国・湖南省との友好交流の推進

平成23年10月に徳島県と中国・湖南省との間で調印した「友好県省関係を樹立する協議書」に基づき、経済、学術などの分野において両県省間の交流を促進した。

2(2) ドイツ・ニーダーザクセン州との友好交流の推進

平成19年9月に徳島県とドイツ・ニーダーザクセン州との間で締結した「交流に関する共同宣言」に基づき、両県州の未来志向の実のある交流を一層進めるため、以下の事業を実施した。

ア ニーダーザクセン州藍染技能士の来県

ニーダーザクセン州藍染技能士ほか2名が来県し、藍染を研究する学生等へのプレゼンテーションや、県内藍染作家の工房訪問等による交流を行った。

イ ニーダーザクセン州スポーツ連盟とのスポーツ交流

ニーダーザクセン州スポーツ連盟との協定により、柔道、剣道、マラソン、カヌー、ハンドボールなどの種目において、相互交流を行った。

ウ 友好交流提携10周年キックオフ事業

平成29年に迎える、本県とニーダーザクセン州との友好交流提携10周年を記念し、そのキックオフ事業として、3月にハノーバーで開催された「C e B I T 2017」に県ブースを出展し、徳島ならではの取組（サテライトオフィス等）を紹介した。

3 国際協力活動の推進（国際課）

3(1) 技術協力等の推進

ア JICAボランティア等への参加の促進

開発途上国の国づくりのために、ボランティアとして派遣される青年海外協力隊やシニアボランティアへの積極的な参加を県民に呼びかけた。

事業名	事業内容	備考
青年海外協力隊派遣事業	派遣先（平成28年度末現在）	<ul style="list-style-type: none"> 派遣期間 原則2年間 28年度末までの派遣状況 61か国 累計266名
	<ul style="list-style-type: none"> タイ 1名 モンゴル 1名 ブータン 2名 キルギス 1名 ウズベキスタン 1名 モロッコ 1名 モザンビーク 1名 ボツワナ 1名 ルワンダ 1名 マラウイ 2名 コスタリカ 1名 	
	計 13名	
シニア海外ボランティア派遣事業	派遣先（平成28年度末現在）	<ul style="list-style-type: none"> 派遣期間 1又は2年間 28年度末までの派遣状況
	<ul style="list-style-type: none"> ミャンマー 1名 フィジー 1名 	
	計 2名	22か国 累計 26名

4 外国人にやさしい徳島づくりの推進（国際課）

4(1) 外国人にも暮らしやすい環境づくりの推進

ア 多言語による地域・生活情報の提供

多言語（英語・中国語）による生活情報を電子媒体により市町村に提供した。

イ 在県外国人等への生活支援講座の開催と多言語相談窓口の設置

日本語教室をとくしま国際戦略センターの他、県内4か所で開催するとともに、公益財団法人徳島県国際交流協会に設置する多言語電話相談（窓口案内）員により、在県外国人等からの各種相談に応じた。

○ 日本語教室受講者数 381人

○ 相談者数 3,755人

ウ 在住外国人支援ネットワークの形成

在住外国人支援にあたるボランティアにとくしま外国人支援ネットワーク会員として登録いただき、研修会を開催するとともに、外国人対象の相談業務を行っている機関・団体で相互に情報交換や支援策の連携協議を行うための在住外国人支援ネットワーク会議を開催した。

○ とくしま外国人支援ネットワーク会員数 285人

5 国際化推進の拠点の充実（国際課）

5(1) とくしま国際戦略センターの運営

県内在住の外国人の生活利便性の向上や海外との経済活動の強化等を図るため、本県における国際交流の拠点である公益財団法人徳島県国際交流協会を核に、多様なニーズに対応する「ワンストップ情報受発信拠点」として、平成25年度に開設した「とくしま国際戦略センター」において、情報収集・発信機能及び市町村国際交流協会等との連携機能の強化を図った。